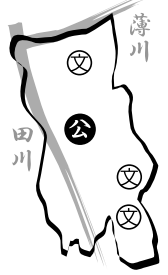


館報

庄内



庄内地区	
令和元年5月1日現在人口	
世帯数	6,942戸
男	7,366人
女	7,363人
合計	14,729人
庄内地区公民館 発行 (ゆめひろば庄内)	
電話	24-1811
FAX	24-1812

地域を守る 庄内消防署の所長が変わりました



松本警察署 庄内交番 所長 草川 誠司

赴任しました「草川誠司」と申します。庄内交番は今年20年前に警察学校を出て初めて赴任したとても想い出深い交番です。20年前は、交番の周りは田畑が広がりとても長閑でしたが、今は商業施設が

今年3月に庄内交番の所長に増えたことにより、人や車の通りが大幅に増え少し驚いております。私はこれまで主に刑事部門で犯罪捜査に携わってきており、交番勤務は久しぶりとなります。庄内交番管内の住民の皆さまの安心安全を守ってまいりたいと思っておりますので、よろしくお申し込みあげます。

Q 庄内地区内の交通状況で注意が必要な場所はどこですか
A COMO庄内付近で地理をよく知らない方による交通事故が多いため注意してください。Q 交番で困っていることは
A 深刻な問題点はありません。ただ、春の桜の時期には、弘法山古墳付近における路上駐車による交通渋滞の対応に苦慮しております。最後に、住民の皆さまへ
庄内交番所員全員一丸となって住民の皆さまの安心安全を守ってまいりますので、困ったことがあればお気軽に交番までご相談ください。



丸の内消防署 庄内出張所 所長 西沢 明

消防署庄内出張所長に着任しました西沢明です。よろしくお願いたします。当出張所では平成26年4月から救急業務を運用開始し、年々過密になる松本市街地の救急出動が効率的かつ迅速に対応できるようになりました。また、今年の1月

からは消火効率が高い圧縮空気泡消火装置を搭載した消防車が配備され、車両火災や油火災にも対応できる機動力を備えています。今後も地域の皆さまの安心安全のため、職員共々誠心誠意取り組んでまいりますのでよろしくお願いたします。Q 庄内出張所における救急車の出動回数は何回ありますか
A 昨年の救急出動は1530件で、前年より89件増加しました。一日平均4.2件出動

したこととなります。Q 消防署で困っていることは
A 定年によるベテラン職員の大量退職で、現場経験の少ない若手職員が増えていきます。訓練を重ねて技術を伝承し職員の能力向上を目指します。最後に、住民の皆さまへ
今後、増加傾向が予想される災害に対応し、自然豊かなこの地域を守るため、日々努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

令和元年度庄内地区 町会長 町内公民館長

- ◆町会長 (連任) 〇副会長
 - 〇梶山 三男 (南新町一丁目)
 - 〇浅輪 正司 (南新町二丁目)
 - 〇藤本 浩一 (逢初町)
 - 〇鶴川 訓靖 (新家町)
 - 〇小松 恵三 (庄内町)
 - 〇上松 賢司 (豊田町)
 - 〇上條 豊 (出川町第二)
 - 〇宮澤 一雄 (出川町)
 - 〇横山 幸信 (並柳)
 - 〇吉田 則雄 (並柳団地)
 - 〇鳥羽 弘純 (神田)
 - 〇堀江 正章 (三才)
 - 〇横内 和弘 (筑摩)
 - 〇山崎 薫 (筑摩東)
 - 〇横内 裕治 (中林)
- ◆町内公民館長 (会長) 〇副会長
 - 〇大野 和朋 (南新町二丁目)
 - 〇太田 恵 (南新町二丁目)
 - 〇久高 誠 (逢初町)
 - 〇小山 邦子 (新家町)
 - 〇中村 享 (庄内町)
 - 〇宮内 聰光 (豊田町)
 - 〇中田 裕基 (出川町第二)
 - 〇百瀬 康一 (出川町)
 - 〇塩野崎正敏 (並柳)
 - 〇中村 志庭 (並柳団地)
 - 〇高根 澄男 (神田)
 - 〇堀江 泰夫 (三才)
 - 〇岩岡 悦子 (筑摩)
 - 〇柴田八重子 (筑摩東)
 - 〇和賀 修 (中林)

庄内地区公民館委員

- 公民館の明日を語る会
 - 〇梶山 三男
 - 〇岩岡 悦子
 - 〇木村 成雄
 - 〇久高 誠
 - 〇中嶋 順子
 - 〇杉田 祐香
 - 〇西口恵利子
 - 〇茂住 光延
 - 〇大嶋 健資
 - 〇横山 正志
- 公民館運営委員
 - 〇森崎 靖
 - 〇吉田 昌照
 - 〇杉田 祐香
 - 〇小林 孝
 - 〇小林 幸代
 - 〇西口恵利子
 - 〇池野 理恵
 - 〇本南 静代
 - 〇降旗 敦子
- 図書・視聴覚委員
 - 〇森崎 靖
 - 〇吉田 昌照
 - 〇杉田 祐香
 - 〇小林 孝
 - 〇小林 幸代
 - 〇西口恵利子
 - 〇池野 理恵
 - 〇本南 静代
 - 〇降旗 敦子
- 子育て委員
 - 〇中嶋 順子
 - 〇西口恵利子
 - 〇小林 幸代
 - 〇小澤 勝
 - 〇赤羽 篤子
 - 〇上條 里子
 - 〇久保由美子
 - 〇塩野崎和子
- 文化委員
 - 〇木村 成雄
 - 〇小澤 勝
 - 〇小泉紀代子
 - 〇竹ノ内みつ子
 - 〇宮林 孝子
- 公民館編集委員
 - 〇上田 敦子
 - 〇草間みちよ
 - 〇本南 静代
 - 〇田島 伊織
 - 〇池上 佳代
 - 〇降旗 敦子
 - 〇伊藤 恵子
 - 〇木村 成雄
 - 〇久保由美子
 - 〇堀江 泰夫
 - 〇大野田彰孝
 - 〇荒井 清治
 - 〇荒井 清治
 - 〇茂住 光延
 - 〇西口 賢一 (全市版委員)
- 庄内地区内の交番・消防署
 - 松本警察署 庄内交番 草川 誠司 所長
 - 丸の内消防署 庄内出張所 西沢 明 所長
- 館報編集委員を募集！

地域の様々な話題や問題などを地域の方々発信していきます。関心のある方は公民館に連絡ください。

並柳団地

並柳団地は建設されてから40年以上も経つ古い団地です。当時は、どの棟も空きがなく、常に順番待ちだったと聞きま

した。子どもの数も多く、イベント(町会の祭り、運動会)がありとてもにぎやかでした。住民のほとんどが、20代から30代の夫婦に子どもという家族構成のため、お年寄りもあまりいませんでした。

しかし、今では家族構成、家庭環境の変化により並柳団地でのイベント等もかなり変化してきました。

①子ども食堂「ふらっと」

並柳団地入口にある並柳商店街の中に「ふらっと」という店があります。学校が終わってから家で1人になってしまいう子、また子ども達の居場所として利用出来ます。子どもだけでなく誰でも利用でき、大人は飲食が有料です。1人暮らしのお年寄りの方が食事のために利用もしています。

②ふれあい会

公民館で、お年寄りの方達との交流として「ふれあいお食事会」「ふれあいお茶会」「敬老会」を開催しています。毎月「ふれあいいきいきサロン」

もあります。町会、公民館係民生と協力しながら活動をしています。

③なみカフェ

これも公民館を利用して、子ども達が宿題をしたり勉強をしたり、また友達との交流をしている様です。

以前に比べると、この団地内での住民の減少、少子高齢化とかなり深刻な問題にはなっていますが、それに向き合い、住民にとって何が大切か、何が出来なのか、何を必要としているのかをそれぞれの役員が考え実行しています。それは各棟においても同じです。

歴史も浅いし、団地は各家庭との関係も気薄なのではと思われがちですが、数年前の地震の時に並柳団地は自発的に公民館を避難所とし住民達だけで助け合いをしました。並柳団地はいざという時の団結力がある地区です。

庄内地区全15町会の紹介が今回号で終了しました。あな

松本市議選43%!! 若者の選挙離れ? 高齢化による選挙会場へ出がけられない現象など、改めて今回の統一地方選を考えたい!!

4月7日 県議選、4月21日 市議選

町会名	県議選投票率	市議選投票率
出川町第1	33.60%	30.29%
逢初町	47.48%	43.06%
出川町	37.89%	36.73%
神田	44.19%	44.57%
三才	41.01%	39.57%
庄内町	32.84%	31.16%
新家町	40.10%	34.13%
筑摩	39.04%	38.20%
筑摩東	36.84%	35.21%
豊田町	39.97%	36.45%
中林	41.74%	48.69%
並柳	37.98%	35.73%
並柳団地	30.27%	27.95%
南新町1丁目	39.75%	34.59%
南新町2丁目	39.17%	39.67%
全体	38.72%	37.25%
10代計	24.52%	19.66%
20歳	17.05%	13.86%
21~29歳	22.77%	21.27%
30代計	32.07%	30.90%
40代計	39.42%	39.63%
50代計	46.99%	47.14%
60代計	57.20%	59.57%
70代計	59.86%	63.71%
80代計	45.05%	48.17%
90代計	17.20%	19.05%
全体	42.82%	43.73%

投票率だけでは判断しにくい、選挙関心度

新しい時代「令和」を築く統一地方選挙が、桜満開の中で行われました。公民館報では選挙の度に、町会別の投票率を掲載して来ましたが、その結果は、過去の投票率と比べて、特に大きな変化はありませんでした。投票率だけでなく、投票に行かないのか? 行けないのか? を、

深読みすることも大切ではないでしょうか。特に高齢者の場合は、投票所に行く手段がなく、行きたくても行けない現実があると思われま

す。また若者においては、政治が身



「日本一のあんずの里」と

宣伝されている千曲市のあんずまつりに出掛けられたの出来事です。ウォーキングマップに従い、景色を楽しみながら広い歩道を歩いていたら、自転車の高校生三人組とすれ違いました。彼らは一列に並び直し、「こんにちは」と挨拶。自分も慌てて挨拶を返しました。道沿いを注意して見たところ、あいさつ運動の立て看板がありました。64回を数えるお祭り

で、観光客をもてなす気配りや挨拶を大切にしている習慣が浸透し、尚且つ、継続努力をしている地域なのでしよう。さて、電車通勤の私は松本駅への道で、近所の中学生までには『お早う』と声を掛けていますが、異国の観光客の方には会釈もせず、下を向いては、道に捨てられている煙草や生垣内のゴミにイライラ。顔を上げては『自転車